



## 平成27年度 全国学力・学習状況調査結果について

今年の4月に、学力や学習状況を分析し改善策を立てるために、小学校6年生を対象として、全国学力・学習状況調査が実施されました。本校の傾向と課題、今後の学力向上に向けた取組等をお知らせします。

### I 全体的な傾向として

- 全体として無回答率が低かったです。
- 国語・算数のA問題（主として「知識」に関する問題）・B問題（主として「活用」に関する問題）、理科ともに、県・全国平均には届いておりません。

### II 各教科の領域について

- 国語では、昨年同様に「書くこと」に課題が見られました。（指定された長さで文章を書くこと、目的や必要に応じてまとめた文章を書くこと、段落構成で文章を書くことなど）
- 算数では、B問題の「数と計算」・「図形」では、県・全国平均を上回っています。しかし、「数量関係」（B問題において）に課題が見られました。
- 理科では、「生命」に関する設問に課題が見られました。

◎問題に対してあきらめず解答しようとする前向きな姿が見られます。

■伊勢崎市プリント活用、すくすくタイム・ぐんぐんタイムなどを通して、基礎・基本の定着を図っていくことが必要と考えます。

### III 児童質問紙の傾向として

- 読書については、読書の量や愛好的態度など、良好な結果が見られました。また、本年度から実施された理科に対する関心、自然観察の体験なども県・全国平均と比べ、高かったです。反面、国語で「文書を書くこと」や「家庭学習の時間」、「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦すること」の項目がやや低くなっています。
- 「地域行事への参加」や「地域や社会での出来事への関心」の項目では、大変高い結果となりました。

### IV 今後の取組について

#### ○学校では

- ・伊勢崎式プリントなどこれまでの取組を継続し、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ・一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、分かる・できる・楽しい授業に努める。
- ・身に付けた基礎・基本をもとに、文章を正しく読み取る学習、筋道を立てて考える学習、自分の考えを説明したり文章に書いたりする授業に努める。

#### ○家庭では

- ・子どもの良さや頑張りを認め、励ます言葉がけを心がける。
- ・基本的な生活習慣と家庭学習の習慣が身に付くよう支援する。

#### ○地域では

- ・情報の発信を通して、学校と家庭・地域が見える相互関係を推進する。
- ・好ましいコミュニケーションの輪が広がるよう地域行事への参加など継続して働きかける。